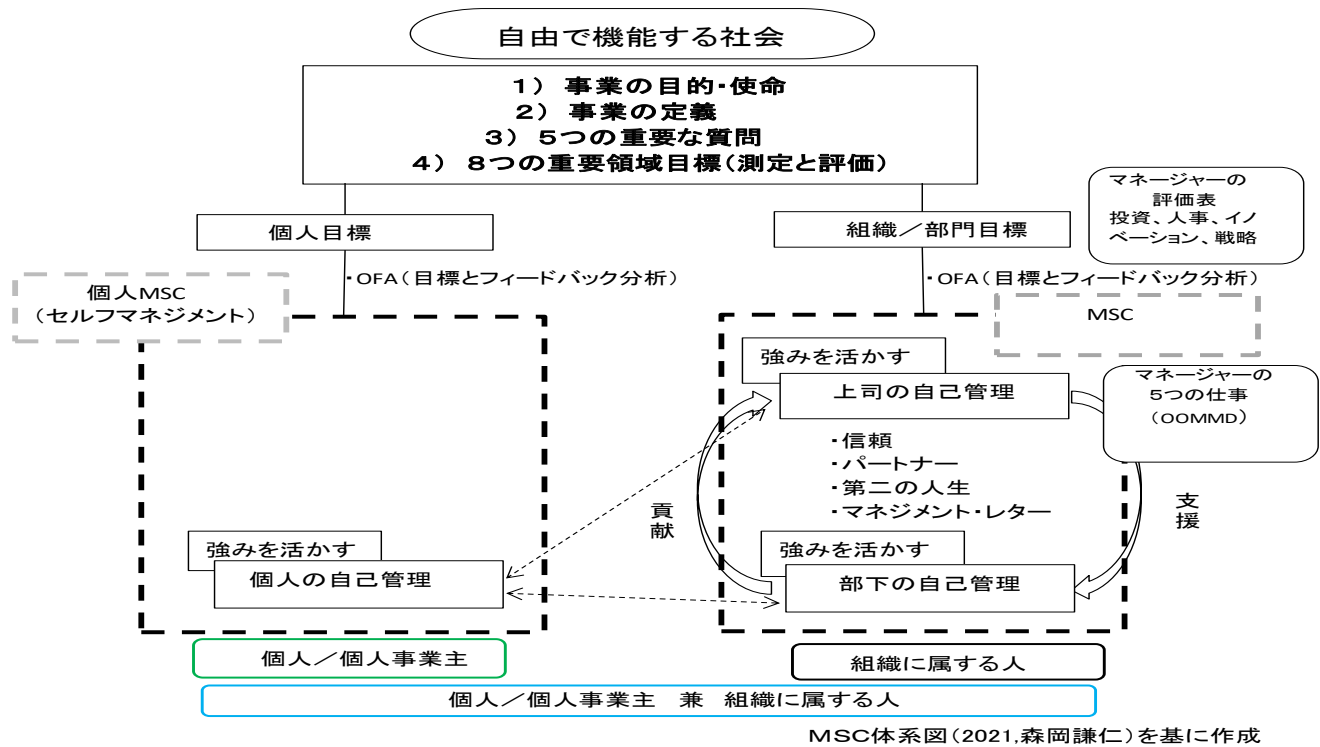


新しい現実とマネジメント： 社会人のセルフマネジメント・ツールとしての「My-MS C」

1) 新しい現実とセルフマネジメント（自己管理）能力向上の必要性

一人ひとりの自己管理能力向上は、VUCA 時代と言われる先行き不透明な時代を生き抜く個々人のみならず、組織にとっても必須な事柄である。今後、自己管理能力が組織全体の生産性向上、働き方の多様化、リモートワークの浸透、自己成長、キャリアデザイン、信頼の獲得などに与える影響はますます大きくなる。

2) 個人MS C（My-MS C）とMS Cの関連図



3) セルフマネジメントを実践する「My-MS C」の特徴

ドラッカーは『マネジメント（中）』の第34章「自己目標管理」の中で「自己目標管理（MBO：Management by Objectives and Self-control）の最大の利点は、自らの仕事を自らマネジメントできるようになることにある。・・・」（p83）と述べて「自己目標管理」がドラッカー「マネジメント」思想の基盤であることを言及している。また、ドラッカーには自分を変えた「七つの経験」があり、それらが自身のマネジメント思想の骨格ともなっている。一方で、『明日を支配するもの』（1999）の第6章「自からをマネジメントする」（p192）では「強み」を活かし「自らをマネジメントする」ことの必要性と方法が述べられている。このように元々セルフマネジメントの考えを土台としているドラッカー「マネジメント」思想を体系図化したものがMSC（体系図）であることから、それを個人に適用した「My-MS C」はセルフマネジメント・ツールそのものと言える。さらに、進化系の一つと目されるTeal組織はフラットで、社員に責任と権限が委譲されて自主的に経営される。それを先取りしているドラッカー「マネジメント」を個人として実践する「My-MS C」は未来志向のセルフマネジメント・ツールでもある。

4) 私のMy-MS C体験

今回、私は「個人 兼 組織に所属する人」の立場でMy-MS Cの作成に臨んだ。所属組織はドラッカー「マネジメント」研究会としたため、まず、主宰者である森岡先生から、「研究会のMSC」の提示を受け、それに協力するパートナーであり、かつ個人として、8つの重要領域目標設定までのMy-MS Cを完成させた。今後は評価測定項目の設定や実行、その結果の評価のためのフィードバック分析評価（OFA）を実施していく予定である。今回の体験は私にとって第三の人生の生き方を見直す良い機会となった。そして、今回の体験過程で受けた森岡先生からの適切なご指導やフィードバックが得られたことに感謝申し上げる。
一以上一